

## 受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、「インベスコ マンスリー・インカム・ファンド」は、このたび、第331期の決算を行いました。

当ファンドは米ドル建てのハイ・イールド社債（高利回り社債）および米ドル建て新興国公社債（エマージング・カントリー公社債）を主要投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。



## インベスコ マンスリー・インカム・ファンド

追加型投信／海外／債券



第331期末(2025年11月10日)	
基準価額	4,618円
純資産総額	3,240百万円
第326期～第331期	
騰落率	9.9%
分配金(税込み)合計	114円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

## 交付運用報告書

第326期 (決算日 2025年6月10日)

第327期 (決算日 2025年7月10日)

第328期 (決算日 2025年8月12日)

第329期 (決算日 2025年9月10日)

第330期 (決算日 2025年10月10日)

第331期 (決算日 2025年11月10日)

作成対象期間 (2025年5月13日～2025年11月10日)

## インベスコ・アセット・マネジメント

東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー14階

<お問い合わせ先>

お問い合わせダイヤル：(03)6447-3100

(受付時間：毎営業日の午前9時から午後5時)

ホームページ <https://www.invesco.com/jp/ja/>

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、インベスコ・アセット・マネジメント株式会社のホームページにて閲覧・ダウンロードいただけます。

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

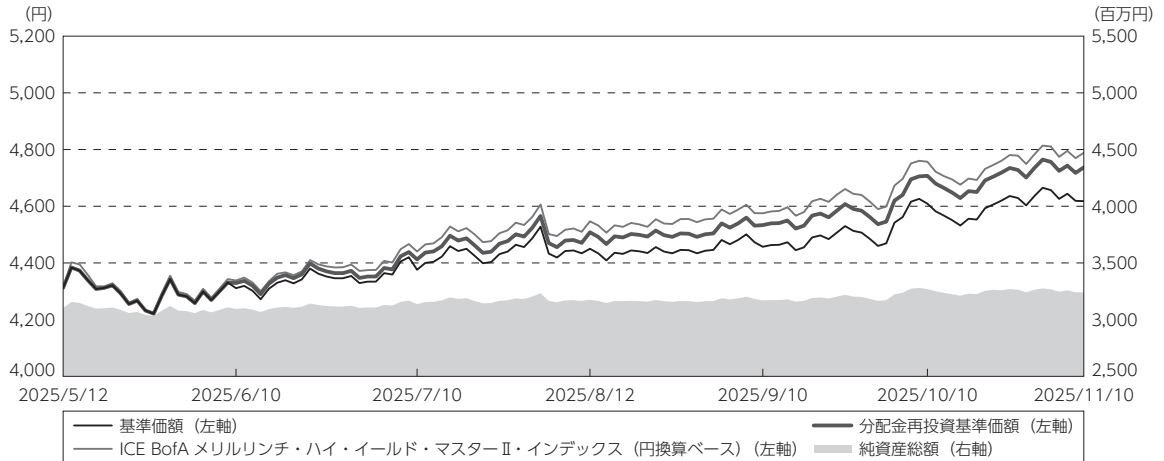
右記<お問い合わせ先>のホームページにアクセスし、「ファンド一覧」等から運用報告書(全体版)を閲覧およびダウンロードすることができます。

UD  
FONT  
見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。

## 運用経過

## 作成期間中の基準価額等の推移

(2025年5月13日～2025年11月10日)



第326期首：4,312円

第331期末：4,618円 (既払分配金(税込み)：114円)

騰落率：9.9% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびICE BofA Merrill Lynch High Yield Master II Index (円換算ベース)は、作成期首(2025年5月12日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) ICE BofA Merrill Lynch High Yield Master II Index (円換算ベース)は、参考指数です。参考指数の詳細は11ページをご参照ください。

## ○基準価額の主な変動要因

## 【上昇要因】

- ・米ドル建てのハイ・イールド社債(高利回り社債)および米ドル建て新興国公社債(エマーシング・カンントリー公社債)を主要投資対象としていることから、保有する債券からの高水準のインカムゲイン(利息収入)や、米国国債利回りが低下(債券価格は上昇)したことが、基準価額の上昇要因となりました。
- ・米ドル建ての資産について対円での為替ヘッジを行わなかったため、作成期を通じてみると米ドルが対円で上昇したことが、基準価額の上昇要因となりました。

(2025年5月13日～2025年11月10日)

## 1万口当たりの費用明細

項 目	第326期～第331期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 38	% 0.850	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(21)	(0.466)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等の対価
( 販 売 会 社 )	(16)	(0.356)	購入後の情報提供、運用報告書等各种資料の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価
( 受 託 会 社 )	( 1)	(0.027)	ファンドの財産の保管・管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) そ の 他 費 用	2	0.047	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 0)	(0.008)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 1)	(0.013)	監査費用は、監査法人に支払うファンドの監査に係る費用
( 印 刷 費 用 )	( 1)	(0.026)	印刷費用は、目論見書や運用報告書等の法定書類の作成・印刷に要する費用等
合 計	40	0.897	
作成期間の平均基準価額は、4,455円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

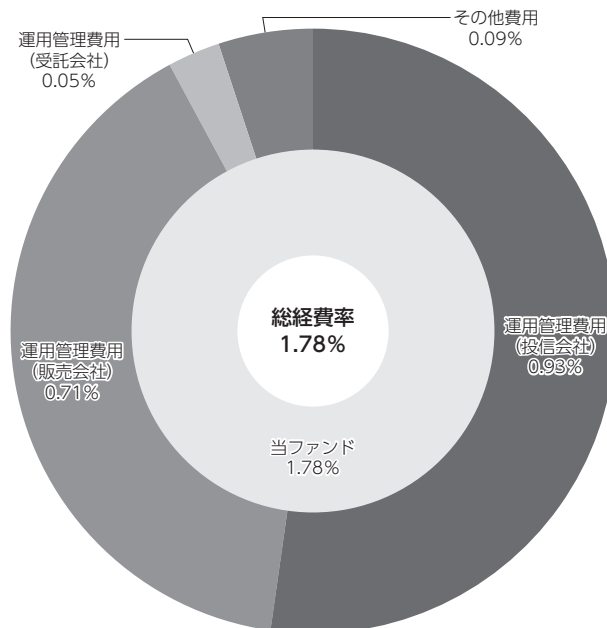
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第4位を四捨五入してあります。

## (参考情報)

## ○総経費率

作成期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を作成期間の平均受益権口数に作成期間の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.78%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

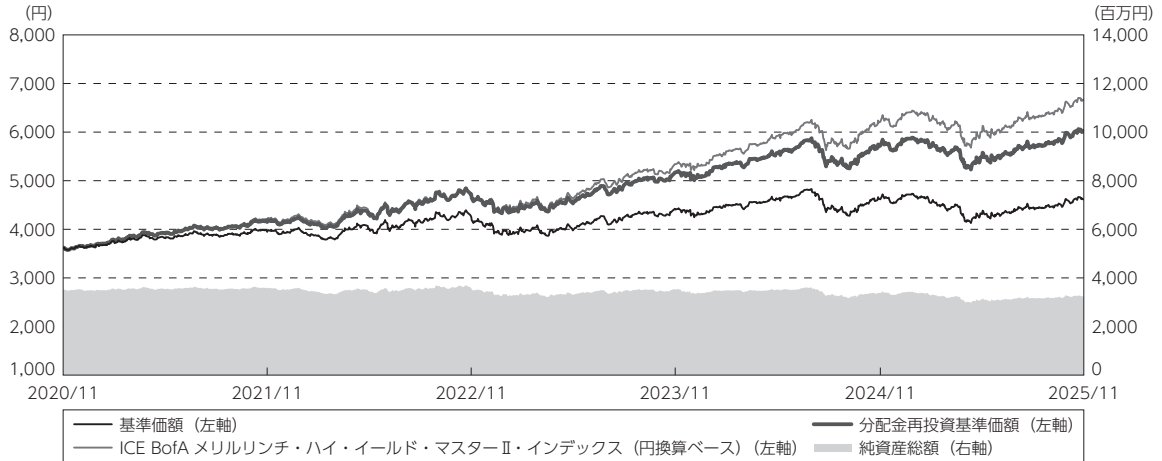
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

(2020年11月10日～2025年11月10日)

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額およびICE BofA Merrill Lynch High Yield Master II Index（円換算ベース）は、2020年11月10日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2020年11月10日 決算日	2021年11月10日 決算日	2022年11月10日 決算日	2023年11月10日 決算日	2024年11月11日 決算日	2025年11月10日 決算日
基準価額 (円)	3,620	3,948	4,262	4,406	4,617	4,618
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	190	217	236	245	234
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	14.6	13.8	9.4	10.6	5.4
ICE BofA Merrill Lynch High Yield Master II Index (円換算ベース) 騰落率 (%)	—	15.8	12.4	13.3	16.3	7.4
純資産総額 (百万円)	3,532	3,558	3,588	3,525	3,373	3,240

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

(注) 騰落率は1年前の決算当日との比較です。

(注) ICE BofA Merrill Lynch High Yield Master II Index（円換算ベース）は、参考指数です。参考指数の詳細は11ページをご参照ください。

(注) 参考指数は投資対象資産の市場動向を説明する代表的な指数として記載しているものです。

(2025年5月13日～2025年11月10日)

## 投資環境

## ＜米国国債利回り＞

2年 3.59% (前作成期末4.01%)    5年 3.71% (同4.11%)    10年 4.12% (同4.47%)

## ＜対円為替レート＞

米ドル／円 153円93銭 (前作成期末145円96銭)

※上記は当作成期末の数値です。

## ＜ハイ・イールド社債市場＞

当作成期間中、①インフレ圧力が緩和している一方、労働市場が軟調に転じたこと、②2025年9月に米連邦準備理事会（F R B）が9カ月ぶりに追加利下げを行い、10月にも2会合連続で利下げを行ったことなどを背景に、米国国債利回りは低下しました。

作成期初、米中貿易協議の結果が楽観視され、安全資産需要が後退したことなどを背景に、米国国債利回りは水準を切り上げる展開となりました。その後、米雇用統計の軟化を受け、政策金利の引き下げ期待が高まったことなどを背景に、米国国債利回りは徐々に低下する展開となりました。作成期末にかけては、F R Bが2会合連続で追加利下げを行ったこと、さらなる利下げに対する期待感が根強いことなどを受け、作成期を通してみると米国国債利回りは低下しました。

ハイ・イールド債券市場では、労働市場の鈍化が見られたものの、インフレ圧力が緩和していること、企業業績が総じて堅調に推移していることなどを背景に、信用スプレッドが縮小したことなどを受け、作成期を通して見ると利回りは低下して作成期末を迎えました。

## ＜為替市場＞

当作成期間中、米ドルは対円で上昇しました。作成期初、米国の相互関税発動による不透明感の高まりを背景に、米ドルは一時142円台まで弱含む展開となりました。その後、各国との貿易協定が締結されたこと、米国の経済指標が堅調に推移したことなどを受け、米ドルが買われやすい展開になりました。作成期末にかけては、F R Bが2会合連続で追加利下げを行ったものの、日銀が政策金利を据え置いたことなどを受け、米ドルは154円台まで買われる展開となり、作成期を通して見ると米ドル高／円安となりました。

## 当ファンドのポートフォリオ

(2025年5月13日～2025年11月10日)

米ドル建てのハイ・イールド社債および米ドル建て新興国公社債を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指して運用を行いました。ポートフォリオ構築に当たっては、業種分析による分散投資とクレジット・リスク（信用リスク）分析に基づく銘柄選定を基本としたアクティブ運用を行いました。また、為替ヘッジは行いませんでした。

当作成期間中、引き続き投資対象銘柄の流動性に注意を払いつつ、ポートフォリオの銘柄入れ替えを行いました。信用格付け別では、引き続きBBB格からB格中心のポートフォリオとし、CCC格以下は低めの組入比率としました。また、セクター別では、エネルギー（中流）、小売、金融などを高めの組入比率とする一方、紙・パルプ、石油施設サービス、化学などを低めの組入比率としました。

## 当ファンドのベンチマークとの差異

(2025年5月13日～2025年11月10日)

当作成期の分配金再投資基準価額騰落率は+9.9%となり、参考指数であるICE BofA メリルリンチ・ハイ・イールド・マスターⅡ・インデックス（円換算ベース）の騰落率+11.1%を下回る結果となりました。

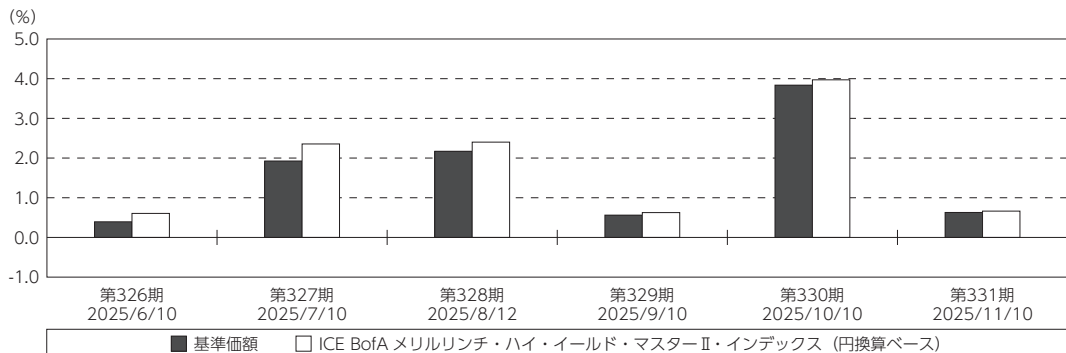
## [プラス要因]

- ・相対的に堅調だった金属・鉱業セクターの配分を参考指数よりも高い配分としたことや、相対的に軟調だった化学セクターの配分を参考指数よりも低い配分としたことなどがプラスに寄与しました。
- ・石油施設サービス、エネルギー（中流）セクターなどにおける銘柄選択がプラスに寄与しました。

## [マイナス要因]

- ・相対的に軟調だった消費財セクターを参考指数よりも高い配分としたことや、相対的に堅調だった石油施設サービスセクターの配分を参考指数よりも高い配分としたことなどがマイナスに寄与しました。
- ・金属・鉱業、消費財セクターなどにおける銘柄選択がマイナスに寄与しました。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) ICE BofA メリルリンチ・ハイ・イールド・マスターⅡ・インデックス（円換算ベース）は、参考指数です。参考指数の詳細は11ページをご参照ください。

## 分配金

(2025年5月13日～2025年11月10日)

収益分配金につきましては、基準価額水準および市場環境などを勘案し、1万口当たり第326期18円、第327期18円、第328期21円、第329期18円、第330期19円、第331期20円（全て税込み）とさせていただきます。収益分配金に充てなかった収益につきましては、信託財産に留保して元本部分と同一の運用を行います。

## ○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第326期	第327期	第328期	第329期	第330期	第331期
	2025年5月13日 ～2025年6月10日	2025年6月11日 ～2025年7月10日	2025年7月11日 ～2025年8月12日	2025年8月13日 ～2025年9月10日	2025年9月11日 ～2025年10月10日	2025年10月11日 ～2025年11月10日
当期分配金	18	18	21	18	19	20
(対基準価額比率)	0.416%	0.410%	0.470%	0.402%	0.411%	0.431%
当期の収益	13	17	19	14	19	16
当期の収益以外	4	0	1	3	—	3
翌期繰越分配対象額	485	485	484	481	481	478

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## 今後の運用方針

米ドル建てのハイ・イールド社債および米ドル建て新興国公社債を主要投資対象とし、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指して運用を行います。ポートフォリオ構築に当たっては、業種分析による分散投資とクレジット・リスク（信用リスク）分析に基づく銘柄選定を基本としたアクティブ運用を行います。また、外貨建資産の為替ヘッジは原則として行いません。

## お知らせ

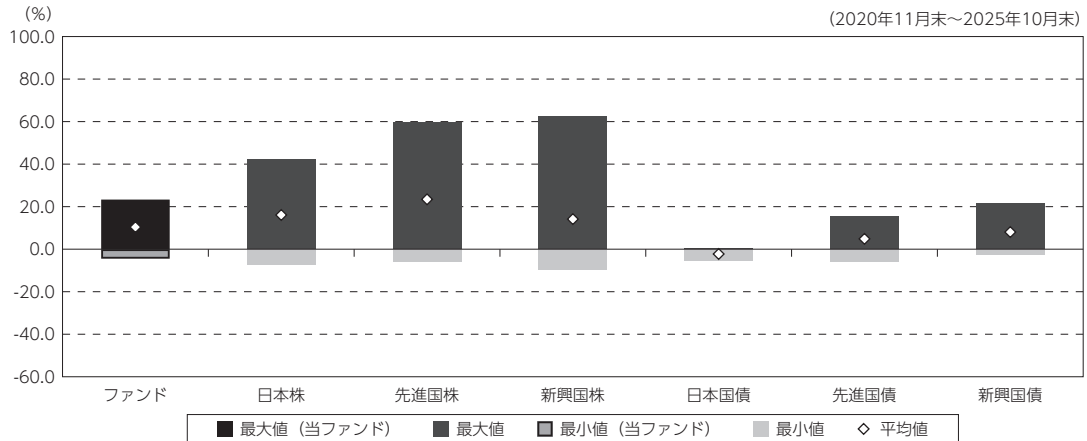
該当事項はございません。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限
運用方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・米ドル建てのハイ・イールド社債（高利回り社債）および米ドル建て新興国公社債（エマージング・カンントリー公社債）を主要投資対象とし、投資信託財産の長期的な成長を目指して運用を行います。</li> <li>・為替ヘッジは原則として行いません。</li> </ul>
主要投資対象	米ドル建ての高利回り社債および米ドル建てエマージング・カンントリー公社債を主要投資対象とします。また、米ドル建て転換社債および優先株式も投資対象とします。
運用方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として、米ドル建てハイ・イールド社債（高利回り社債）および米ドル建て新興国公社債（エマージング・カンントリー公社債）へ投資し、高水準のインカムゲインの確保に加え、キャピタルゲインの獲得を目指します。</li> <li>・業種分析による分散投資とクレジット・リスク（信用リスク）分析に基づく銘柄選定を基本としたアクティブ運用を行います。</li> </ul>
分配方針	原則として毎月の決算時（毎月10日、該当日が休業日の場合は翌営業日）に委託会社が、基準価額の水準、市場環境等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わないことがあります。

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
平均値	10.4	16.1	23.4	14.1	-2.3	4.8	8.0
最大値	23.3	42.1	59.8	62.7	0.6	15.3	21.5
最小値	-4.5	-7.1	-5.8	-9.7	-5.5	-6.1	-2.7

(注) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2020年11月から2025年10月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

先進国株：MSCI コクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

日本国債：NOMURA - BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

新興国債：JP モルガン GBI - EM グローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

※各指数についての説明は、P11の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2025年11月10日現在)

## ○組入上位10銘柄

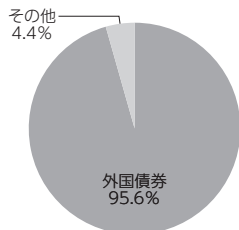
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国（地域）	比率
					%
1	TELECOM ITALIA CAPITAL 6.375% 2033/11/15	普通社債券	米ドル	ルクセンブルク	3.7
2	HILTON WORLDWIDE FIN 4.875% 2027/4/1	普通社債券	米ドル	アメリカ	3.6
3	SUNOCO LP/FINANCE 4.5% 2030/4/30	普通社債券	米ドル	アメリカ	3.4
4	ROYAL CARIBBEAN CRUISES 3.7% 2028/3/15	普通社債券	米ドル	リベリア	3.3
5	FIRSTENERGY 2.65% 2030/3/1	普通社債券	米ドル	アメリカ	3.2
6	GLOBAL PART/GLP FINANCE 6.875% 2029/1/15	普通社債券	米ドル	アメリカ	3.2
7	LAMAR MEDIA 4.875% 2029/1/15	普通社債券	米ドル	アメリカ	3.1
8	LAS VEGAS SANDS 3.5% 2026/8/18	普通社債券	米ドル	アメリカ	3.1
9	TENET HEALTHCARE 6.75% 2031/5/15	普通社債券	米ドル	アメリカ	2.9
10	VODAFONE GROUP 4.125% 2081/6/4	普通社債券	米ドル	イギリス	2.8
	組入銘柄数			64銘柄	

(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

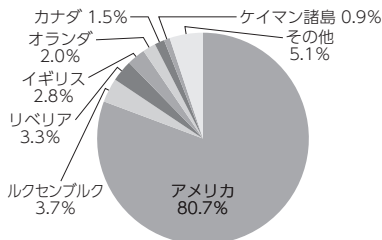
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書（全体版）に記載しております。

(注) 国（地域）につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

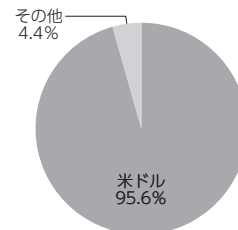
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては、発行体の国籍（所在国）などを表示しております。

(注) その他には現金等を含む場合があります。

## 純資産等

項 目	第326期末	第327期末	第328期末	第329期末	第330期末	第331期末
	2025年6月10日	2025年7月10日	2025年8月12日	2025年9月10日	2025年10月10日	2025年11月10日
純資産総額	3,094,335,229円	3,136,377,323円	3,175,797,274円	3,169,616,258円	3,268,446,848円	3,240,641,565円
受益権総口数	7,177,030,840口	7,167,729,752口	7,136,007,201口	7,112,028,674口	7,091,530,323口	7,016,776,264口
1万口当たり基準価額	4,311円	4,376円	4,450円	4,457円	4,609円	4,618円

\*作成期間（第326期～第331期）中における追加設定元本額は16,316,131円、同解約元本額は195,083,831円です。

## ＜当ファンドの参考指数について＞

当ファンドはベンチマークを定めていないため、参考指数としてICE BofAメリルリンチ・ハイ・イールド・マスターⅡ・インデックス（円換算ベース）を掲載しています。基準日前営業日の米ドル建て指数に基準日の対顧客電信売買相場仲直を用いて当社が独自に換算しています。

## ＜代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について＞

### ○TOPIX（東証株価指数）（配当込み）

TOPIX（東証株価指数）（配当込み）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、配当を考慮したものです。なお、TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社に帰属します。

### ○MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

### ○MSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、円ベース）

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他の知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。なお、円ベース指数については、委託会社がMSCIエマージング・マーケット・インデックス（配当込み、米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

### ○NOMURA – BPI国債

NOMURA – BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表している日本の国債市場の動向を的確に表すために開発された投資収益指数です。なお、NOMURA – BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。

### ○FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、FTSE世界国債インデックスに関する著作権等の知的財産その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLCに帰属します。

### ○JPモルガンGBI – EMグローバル・ダイバーシファイド（円ベース）

JPモルガンGBI – EMグローバル・ダイバーシファイドは、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。円ベース指数については、委託会社がJPモルガンGBI – EMグローバル・ダイバーシファイド（米ドルベース）に、当日の米ドル為替レート（WM/ロイター値）を乗じて算出しています。

指数に関する一切の知的財産権とその他一切の権利はJPMorgan Chase & Co.及び関係会社（「JPモルガン」）に帰属しております。JPモルガンは、指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。JPモルガンは、指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドを推奨するものでもなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負うものではありません。